

反映状況票

(単位:百万円)

府省名	調査事業名	調査主体	取りまとめ財務局	4年度予算額	5年度予算案	増▲減額	反映額
経済産業省	(25) 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業	本省	—	4,000	3,690	▲310	—
事案の概要	中小企業・小規模事業者が抱える様々な経営課題の解決を支援し、地域経済の活性化を目指すことを目的として、「よろず支援拠点事業」等の相談体制を整備する。						

調査結果の概要及び今後の改善点・検討の方向性

1. 各拠点における「課題発見」や「課題解決」の定量的把握及びそれらの拠点間比較について

○ 課題発見件数、課題解決件数には、いずれも拠点間のばらつきがあることを踏まえ、例えば、

- ① 課題発見のためのガイドライン等の整備
- ② 課題解決の取組について、優良事例・ノウハウの横展開強化などを講じ、各拠点の質の平準化や底上げを図るべき。

○ 特に、本事業の有効性の観点では、課題解決件数の改善が必要である。その際、相談者数が増加傾向にあることも踏まえると、よろず支援拠点における限られた人的リソースのみによって解決を目指すのではなく、当該地域における他の支援機関等への紹介・連携を積極的に推進し、地域のハブとしての役割を果たしながら、効率的に課題解決に導くことが重要である。

2. 支援拠点の実績評価の予算配分への反映状況について

○ 各拠点の活動に基づく評価結果が予算査定に反映され、各拠点のインセンティブとして機能するよう、予算配分方法の見直しを図るべき。

反映の内容等

1. 各拠点における「課題発見」や「課題解決」の定量的把握及びそれらの拠点間比較について

○ 令和4年度は、全ての拠点のコーディネーターが参加する全国研修会を春と秋に2回開催するとともに、地域ブロック研修及び連携フォーラムを全拠点で実施した。また、よろず支援拠点全国本部における各種アドバイザーを各拠点に定期的に派遣することで、優良事例・支援ノウハウの横展開に積極的に努めた。令和5年度は、これまでの取組を継続するとともに、新たに課題設定型伴走支援に関するガイドライン等の作成、全国本部におけるアドバイザー機能に関する法務や財務などの専門性強化等を通じて、各拠点の相談対応の質の更なる平準化や底上げを図る。

○ 令和4年度は、知財総合支援窓口や下請かけこみ寺との連絡先交換や相互の講師派遣等、地域における他の支援機関との連携を積極的に行き、地域のハブ機関としての役割を強化した。令和5年度以降も、他の支援機関との更なる連携を積極的に図るとともに、拠点の評価方針・評価項目を他の支援機関との連携や紹介を重視するよう見直す予定。拠点の限られたリソースを他の支援機関との連携により最大限活かすことで、効率的に課題解決に導く体制を構築する。

2. 支援拠点の実績評価の予算配分への反映状況について

○ 各拠点の活動状況に応じた適切な予算配分が行われるように、令和5年度以降における評価方針・評価項目を見直す。具体的には、各拠点の活動実績の定量的な積み上げを基礎として地域の需要に応じた予算を配分した上で、評価結果をインセンティブとして反映させる仕組みを構築する。